

筑坂高×阿賀町 オンライン・ミーティング

(※筑波大学附属坂戸高等学校)

の開催内容を **オンライン配信** します!



2019年夏、教育旅行で阿賀町を訪れた筑波大学附属坂戸高等学校。彼らは町の人々との交流を通じて、阿賀町の魅力や課題、そして、新潟水俣病の光と影を学びました。ここ2年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、阿賀町への教育旅行は中止されていますが、このたびオンライン会議システム「Zoom」を活用し、「**新潟水俣病の光と影に向き合う**」というテーマで、**高校生たちと阿賀町関係者がリモート交流会を開催**することになりました。

つきましては、**当日の様子をYouTubeでオンライン配信**いたしますので、興味をお持ちの方は、下記のとおりご視聴いただければ幸いです(※お申し込みが必要です)。

配信方法 YouTubeライブ配信 **配信日時** 2022.3.16(水) 13:30~15:30(予定)

参加方法 右のQRコード(または下のURL)から、お申し込み願います。お申込された方には、YouTubeライブ配信の視聴用URLを送信いたします。



URL: <https://forms.gle/p7anp3nujKLgfvVg9>

※いただいた個人情報は、「阿賀流域・連続ツアー講座」及び「阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム」の開催案内や実施、及び、「阿賀野川えとこだより」の送付を目的とした用途以外に使用することはありません。

お問合せ 一般社団法人
あがのがわ環境学舎
0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

主催 新潟県
共催 筑波大学附属坂戸高等学校
運営 一般社団法人あがのがわ環境学舎
一般社団法人Raise your Flag
協力 (株)JTB川越支店・阿賀町役場・
黎明学舎

ライブ配信のお知らせ
直近で配信されるオンライン・ライブの情報をお届けします

振り返り配信

阿賀野川オンラインツアー

阿賀野川オンラインツアーで流した2つの映像。
その完全版を一挙に上映するオンライン配信です。



▲バード目線の映像 ▲ドローン視点の映像

配信方法 YouTubeライブ配信 ※申込不要、当日、次のURLまたはQRコードからご覧ください。
URL: <https://youtu.be/bE-OEGtXnOI>

配信日時 2022.4.3(日) 19:00~21:00

ゲスト 新潟イザベラ・バード研究会 代表 伊藤 頼子 さん 路地連 野内 隆裕 さん

主催 一般社団法人
あがのがわ環境学舎 0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp



▲新潟を訪れた、完訳本記者の金坂清則先生(写真中央)。写真右から2人目が伊藤頼子さん、写真左が野内隆裕さん。写真背景は阿賀野川の本尊岩。



▲完訳日本奥地紀行(イザベラ・バード著/金坂清則訳注/平凡社)

「2018年でした。その前年暮れに、まちあるきグループ「路地連新潟代表の野内隆裕さん」から「この本を読んでみて。新潟とバードの関係に着目すると面白いかも」とアドバイスを受け、伊藤さんは野内さんから薦められた「日本奥地紀行」を手にとりてみたのです。これまでの抄訳本では、新潟の記述がかなり省略されていました。でも、野内さんお薦めの金坂先生の完訳本(※上掲写真参照)に目を通すと、実はバードがかなりの文量を送って新潟を詳細に記述していたことがわかったんです」

このバードによる「新潟の記述」をもとに、県内各地をつなぐ新しい観光プロジェクトが起これるのでは……と考えた伊藤さんは、平成30年に入ると早速行動を開始します。完訳本を執筆された金坂先生との親交を野内さんとともに深めつつ、地域のまちあるきガイド団体と連携して野内さんの協力も得ながら、「津川から新潟へのルート」と「新潟から木崎・黒川へのルート」の2回にわたるモニターツアーを開催して、確かな手応えを感じました。



「バードには、あの時代に世界を股にかけて、異国の地を一人で冒険する好奇心や胆力、集中力があつて、現代の私たちから見て大変魅力的な人物です。一方、観光や地域づくりの面から見ると、バードという目線を通じて各地域を見つめ直したり、広くつないだりできるんです。その意味で、新潟イザベラ・バード研究会は組織・団体というよりも、各地域のまちづくりやまちあるきガイドをつなぐ合わせるネットワークのような存在ですね」

続く令和2年は新型コロナウイルスの感染拡大で開催を見合わせたものの、令和3年には若干規模を縮小しつつ県内参加限定で再開し、多くのの方々から好評を得ました。

2022年「バードつなぐまちあるき」開催情報は詳細が決まり次第、新潟イザベラ・バード研究会の公式facebookに掲載予定です。

URL: <https://www.facebook.com/niigata.BIRD>

そう語る伊藤さんは現在、週末に新潟シティガイドを務めつつ、令和4(2022)年の「バードつなぐまちあるき」の開催に向けた準備に取り組んでいます。

「今後はぜひ県や自治体にも加わってもらい、看板などの検討が進められるといいですね。また、バードがたどった県外地域ともいづれつながりたいですね」



▲イザベラ・バードが見た明治の新潟を歩く2021チラシ